

F-REI 市町村座談会（いわき市）議事要旨

1. 日 時 令和5年6月20日(火) 17:00～18:30

2. 場 所 いわき産業創造館 企画展示ホール

3. 議 事

(1) 開 会

(2) 挨拶

(3) F-REI の取組紹介

(4) 意見交換

<テーマ> F-REI との未来の連携について

(5) 閉 会

【主な発言内容】

- F-REI の新しい歴史を一緒に創っていくため、提案と注文をさせていただきながら、汗をかいていきたい。
- F-REI からいわき市に注文してもらいたい。いわき市は汗をかき、人やフィールドのアレンジをする。
- 地元企業の掘り起こしや参画できる分野の洗い出し、牽引する企業との橋渡しや技術移転の部分で市として連携していきたい。
- チャレンジを一つ一つ積み重ねながら、成功事例を積み上げることが大切と認識。
- 人材育成に関し、F-REI と連携した大学院への進学を念頭に教育体制の強化を図ることや、共同研究プロジェクト等を念頭に教職員の交流を図っていきたい。
- 地元で就職がしたいと考えているが、就職先が限定されることに加え、大企業への就職が難しいのが現状。F-REI には、魅力的な就職先の誘致につながるよう、取組んでもらいたい。
- 米国ハンフォード研修に参加した。ハンフォードは大学と産業界が連携しており、地域循環型社会が構築されていた。F-REI には、浜通りの産業発展に貢献できる研究

や廃炉を進展させるようなロボットの開発を行い、ハンフォードのような地域になってほしいと思っている。

- STEAM 教育など、若者教育に尽力してほしい。
- 研究者に浜通り地域に定住してほしい。
- 小規模事業者が直接研究に関わるのは難しいので、住環境の面で一人でも多くの関係者がいわきに定住いただけるよう下支えをしていきたい。
- 子どもたちがロボットなどの先端技術に触れる機会をつくり、将来的にいわきで起業することやF-REI の研究者になることを期待している。
- 県外、海外の方からも不安なく住みたいと思えるような町になってほしい。
- F-REI 発のベンチャー企業の育成をしてほしい。いわき産業創造館は 11 部屋のインキュベートルームを持っており、知財管理などのサポート制度も構築している。将来的に当該施設や支援メニューを活用いただきながら、F-REI の研究成果の実用化や社会実装に貢献していきたい。
- F-REI の研究との交流を密にして好循環を期待している。
- 若者たちに科学の奥深さを教えて、福島発のブランドが多く創出されるよう、リーダーシップを期待している。
- 廃炉関係の仕事に就きたい。原子力災害に関する誤解や偏見を解消するような研究をしてもらいたい。
- IT は、いわき市は不便という印象の挽回に非常に役立つと思う。ネットリテラシーやデジタルデバイドなど県民の IT への理解を深めることも重要。IT を活用することで福島全体の人材還流や産業発展につながる。
- 最近は理工系大学に進学する女子学生（いわゆる「リケジョ」）も多くなってきており、F-REI にはそういう人の働く場になればと期待している。浜通り地域で復興を推進する人材が増えることを願っている。

- F-REI が世界に冠たる創造的復興の中核拠点となるよう、我々も F-REI としっかりと連携し、支えていきたいと考えているので、ぜひ頼りにしてほしい。
- みんなで素晴らしい福島を創っていきたい。
- まずは福島の課題に的確に対応していただきたい。浜通り地域の人たちの意見を聞いて、発展してほしい。
- SDGs のように、日本は政府が推進しないと普及しない傾向がある。小中学生時から社会課題について教育することが重要である。
- グローバル化している現代では、マーケットは自ずと世界になる、それを考えると社会実装が期待されている F-REI は世界を見据えていないといけないと思う。
- F-REI には、世界で勝負できる取組を行ってもらえるよう、我々も協力したい。
- いわき市はモノづくり産業が発達しているが、コトにも力を入れることが大事で、F-REI には、5分野だけでなく、ハイブリッド的に新しい業態、産業につながるような形に持って行っていただきたい。